

第78回全国高等学校バレーボール選手権大会(春の高校バレー)運営申合せ事項(2024/10/16)

※大会日程・会場・観戦についての対応は、別紙「選手権大会 大会プログラム」、
「選手権大会 観戦・応援に関する注意事項」を確認してください。

【総務関係】

- 1 各チームの監督及び引率責任者の方はチームの選手のマナーについて責任をもって指導してください。試合中の選手のマナー、試合以外での大会期間中すべての選手の行動に関して監督及び引率責任者の方は責任をもって指導してください。
- 2 各チームの会場へのバス・自動車の乗り入れについては、県高体連HPを参照し、指示に従ってください。チーム引率者が車を乗り入れる場合は、チーム名を書いた紙を運転席に置いてください。路上駐車など、会場周辺に迷惑がかからないようにしてください。
- 3 試合会場でのゴミは責任をもってチームで持ち帰ってください。
- 4 各チームは関係者（保護者等）に会場内で必ず観戦証を身に着けさせてください。
- 5 監督は必ず本部に来て会場責任者、競技責任者から諸連絡を聞いてください。
- 6 駒ヶ谷体育館は土足厳禁です。体育館入口で履き替えてもらえますが、観客も全員各自で外履きを観客席に持って行ってください。玄関においておくことは厳禁とします。

総務委員長 井上 俊治

【競技関係】

- 1 試合時刻について
 - (1) 設定時刻とは試合開始時刻(試合開始のサービス許可の吹笛時)のことです。
 - (2) 設定時刻よりも早く、その試合を始めることはありません。
ただし、棄権が出た場合は、設定時間を変更することがあります。該当チームには事前に連絡しますので、指示に従ってください。
 - (3) 試合に遅れるチームがあれば、公式練習終了後（試合開始時刻）から 15 分待ち、なおコートに現れないときは棄権として扱います。
 - (4) 合同練習・公式練習は隣コートの試合運営を妨げないよう注意してください。
- 2 大会試合球・ネット等について
 - (1) 試合球は高体連で準備します。
(男子…モルテン V5M5000、女子…ミカサ V300W)
 - (2) ネットの高さは男子 243 cm、女子 224 cm とします。
- 3 服装について
 - (1) リベロプレイヤーはチームの他の競技者と対照的な色のユニフォーム（ベースの色を変える、デザインは他の競技者のものと異なってよい）を着用しなければなりません。お互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

- (2) ソックスの色と長さは統一されていなければなりません。（メーカーのロゴなどのわずかな違いは構いません）ただし、リベロを除く。

4 構成メンバーについて

- (1) 構成メンバーは、登録が完了している「参加申込書」の 18 名から 14 名を選ばなければなりません。特別の事情により、やむを得ず変更しなければならない場合や、「参加申込書」に記載されたメンバー以外をエントリーする場合は、大会第 1 日目に提出する「構成メンバー表(大)」をもって変更届がなされたものとします。ただし、「参加申込書」に競技者番号（選手 ID）がない場合（未登録）や「参加申込書」に未記入の選手をエントリーする場合は、大会第 1 日目までに登録を完了し、日本バレーボール協会（JVA）が発行する「チーム加入選手一覧」を持参し、「構成メンバー表(大)」に添付しなければなりません。
- (2) 14 名の構成メンバーは、試合ごとに変更することができます。試合開始後、構成メンバー以外の選手や登録された番号以外での参加が発覚した場合、没収を含むペナルティを科す場合があります。
- (3) 各試合での構成メンバーが 13 名以上の場合は、必ずリベロを 2 名登録してください。また、リベロプレイヤーはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができます。
- (4) 構成メンバー表(小)は、前の試合の第 1 セット終了までに本部席に提出してください。第 1 試合のチームは合同練習に入るまでに提出してください。
- (5) トレーナーをチームスタッフとして会場に入場させる場合は、チーム受付時に本部に申請すること。トレーナーは、プロトコール開始まで、コート（フロア）に入ることができます。その際には必ずビブス（各チームで用意）を着用してください。プロトコール開始後は緊急時以外、コート(フロア)には入れません。

5 競技コントロールエリア（コート、フリーゾーンおよびベンチ）の立ち入りについて

- (1) 該当試合に登録されたベンチスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）と選手（最大 14 名）だけが、競技コントロールエリアに入ることができます。登録されていない部員（マネージャーを含む）、チームトレーナーはプロトコール開始までは許可されません。また、クイックモッパ（最大 2 名）はこの限りではありません。
- (2) 前試合終了後、競技役員の指示があるまでは、チームは競技コントロールエリアに入ることができません。また試合終了後、チームは速やかに競技コントロールエリアから出てください。

6 その他

- (1) 各チーム、14 名の構成メンバー以外にクイックモッパとして 2 名をベンチの両サイドに配置できます。詳細は下記「【審判関係】 3. ワイピングについて」で確認して下さい。

競技委員長 永田 智久

【審判関係】

1 審判・コートオフィシャルについて

***別紙（大会プログラム3. 試合設定時刻）を参照にしてください。**

- (1) 11月2日、3日の第2試合以降の試合の副審は前試合敗者チームの審判担当者が行
ってください。今大会は帯同審判制度は行っておりません。
ホイッスルは通常のホイッスルを使用してください。（長管・短管を準備してください）
電子ホイッスルは不可です。
- (2) コートオフィシャルについては、別紙（大会プログラム3. 試合設定時刻）を参照に
してください。
特に、2日、3日の第3試合出場チームは第1試合のコートオフィシャルが割り当てら
れています。
- (3) 2025年度（公財）日本バレーボール協会競技規則に則っておこないます。
2022～2025年度、いくつかルール改正が行われています。詳細はルールブック、HPで
ご確認ください。

**世界選手権、SVリーグ等で実施されている特別ルールの実施はありません。*

2 試合について

- (1) 試合開始・終了時、プロトコール時の握手は以前の形に戻します。
- (2) 審判・ラインジャッジ等へのチーム関係者からの抗議は、直ちに警告または反則等のカ
ード適用の対象となります。
- (3) ラインアップシートはセット毎に提出してください。シートはセット終了時に破棄され、
返却はしません。
- (4) 選手およびベンチスタッフは、試合中コントロールエリア（コート・ベンチ・フリーゾ
ーン・ウォーミングアップエリア）から主審の許可無く出てはいけません。
- (5) 監督はベンチ前のアタックラインの延長からウォームアップエリアまでのフリーゾ
ーン内で、ラリー中も立ったまま選手に指示しても構いません。
- (6) **3セット目のチェンジコートからゲーム再開までの手順について**
以下の①～③の手順で行います。
①13点が入ったら主審は吹笛をし、6人をエンドラインに並ばせる。
②チェンジコートをして、両チームをコートに入れる。
③ゲームを再開する前に現時点でのポジション確認を副審と記録で連携して行い、ゲ
ームを再開する。

3 ワイピングについて

- (1) 試合中のワイピングはチームの責任です。必ず、複数枚のタオルを常備し、コート内の
選手で速やかにワイピングしてください。
- (2) ボールデッド間での柄モップの使用は審判の許可がない限り認められません。ただしタ
イムアウト中、セット間は使用することができます。

- (3) クイックモップを置くことができますが、その場合以下のように行ってください。

- ①構成メンバー以外で最大2名まで配置することができます。その場合、ベンチの両サ
イドに配置してください。
- ②クイックモップは他の選手並びにベンチスタッフ（生徒マネージャーを含む）とは異
なった服装とし、試合中はチームスタッフの仕事（ボール拾い、水くみなど）やチーム
の応援はできません。
- ③ワイピングの後は速やかにベンチの両サイドに戻ってください。
- ④構成メンバー以外の選手がいない場合は、控え選手がクイックモップを務めることが
できます。
その場合はウォームアップエリアではなく、ベンチからコートに入ってください。また、
リベロプレイヤーがクイックモップを務めることは避けてください。
- ⑤クイックモップはあくまでも補助です。コート内の選手がワイピングせず、長引くこ
とがあれば、遅延行為とみなす場合があります。

審判委員長 平井 美佐

【その他】

1. 大会中の自チーム、他チームの動画撮影について

兵庫県高体連バレーボール部としては、動画撮影について、規定等は特に設定しません。撮影し
た映像のリモート配信、SNSアップ等への利用、処理に関しては各チームの責任でお願いします。
試合映像には、自チームだけでなく、相手チームも画像に映っていますので、トラブル等が発生し
ないよう事前に相手チームの了解を得る等、モラル、マナー面に十分に配慮されますようお願いし
ます。特に映像が拡散した場合に、さまざまな問題が発生しています。映像の取り扱いにつきましては、
各チームの責任で慎重にお願いします。